

【北陸地域地方公共団体完全LED化包括事業】第1号事業事例	取組開始時期	令和2年9月	取組の カテゴリ	地域活性化
-------------------------------	---------------	--------	---------------------------	-------

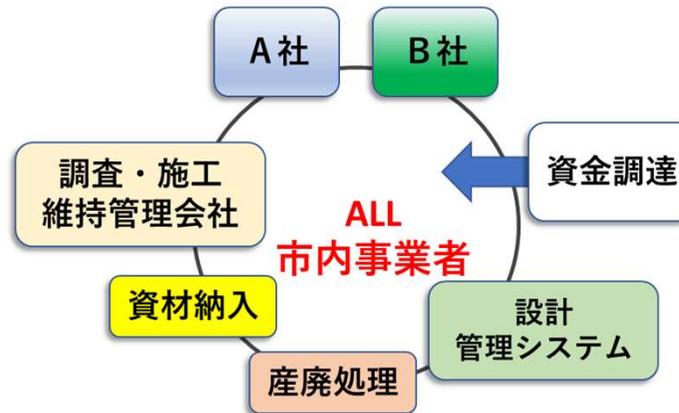
1. 団体名	北陸グリーンボンド株式会社	2. 連携先の団体	金沢市・米沢電気工事株式会社・北國銀行
---------------	---------------	------------------	---------------------

3. 取組目的	地域資源を最大限活用し、地域循環型PPP（官民連携）を目指します。	4. 関連するゴール	    
----------------	-----------------------------------	-------------------	---

5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

◆取組内容の詳細

金沢市内の小中学校体育館74施設と市営体育館7施設に現在設置されている照明約3,000灯（ほぼ水銀灯）を調査し、22年3月までにLED化更新工事を行い、その後10年間の維持管理を行う業務内容です。事業資金は弊社設立のSPCより**グリーンボンド発行**し、地元金融機関引受けによる調達を予定しており、地元工事店での調査設計・施工・維持管理を行い、全て地域に精通した地元の業者「**オール金沢の業者**」で行うのが特徴の事業となっております。



◆取組によって得られる成果

- ①調査設計・施工・維持管理を包括的に実施する事による**業務の効率化**
- ②地域循環型PPP(官民連携)事業方式による**地域活性化**
- ③地球温暖化効果ガス削減や汚染物質の低減による**環境問題の改善**
- ④地方自治体のLCC(ライフサイクルコスト・長期運営コスト)の軽減及び職員労務軽減による**行政運営効率化**

◆今後の方向性

地方自治体ではインフラの老朽化・人口減少・財政問題などの課題が山積みとなっており、これらの諸問題をグリーンボンド活用により資金調達し、全てを地域内の業者で完結される**地域循環型PPP(官民連携)**を**環境金融コンサル**として総合的に地方自治体を支援します。同時に地域の道路・公園・河川・山林などのグリーンインフラ推進に取組み、**CO2削減**など環境問題を改善します。

取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

従来大手1社独占ではなく、地域の中小企業も下請けではなく元請けとして、大型案件に参加できるようになりました。資金調達にはグリーンボンドを活用し、LED化によりCO2削減。包括民間委託により行政運営効率化を図りました。

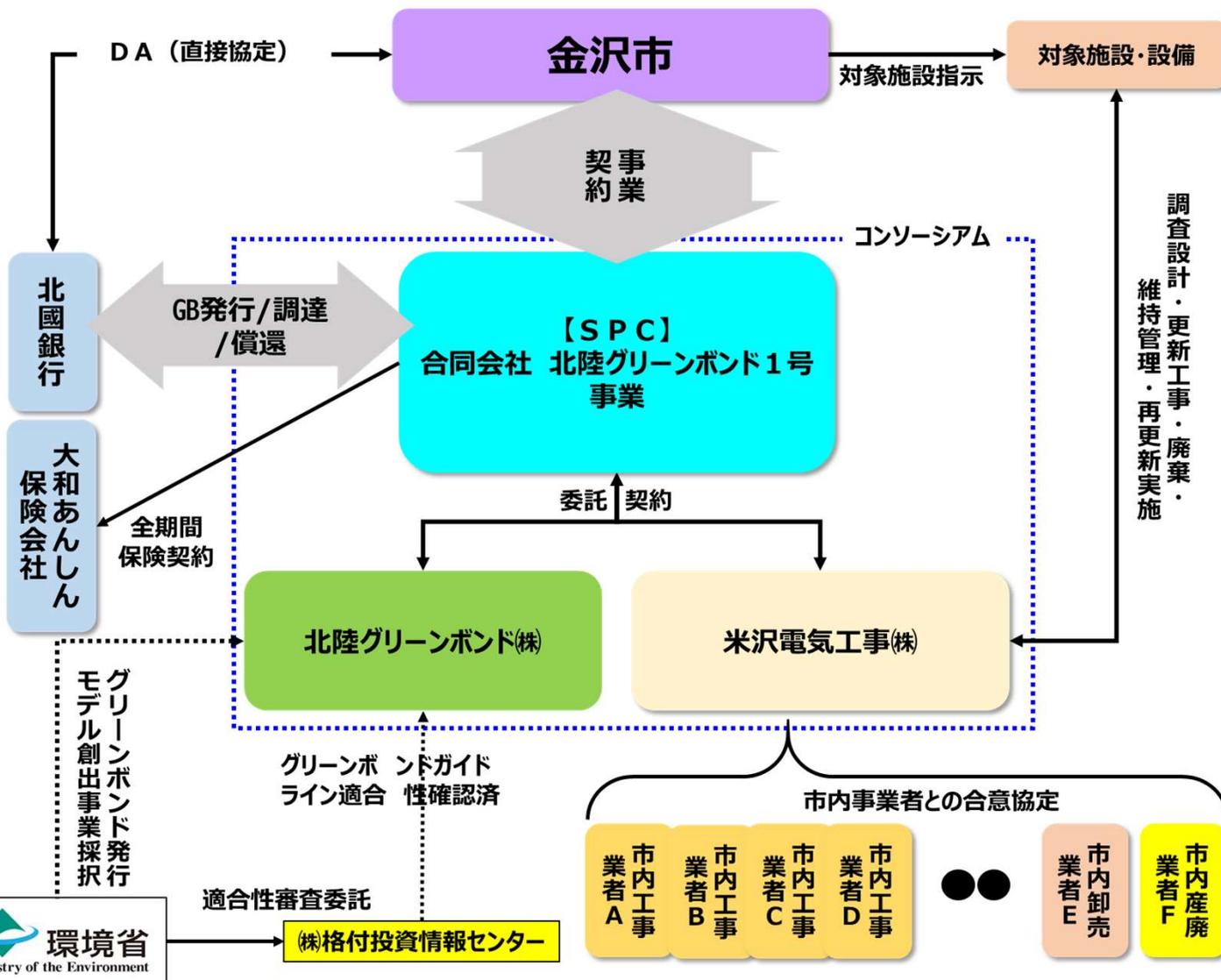
ステークホルダーとの連携

資金調達・調査設計・施工・維持管理を全て地域に精通したステークホルダーと連携して行う事業となっております。地域のステークホルダーとの信頼関係と協働関係を構築し、対話と連携を通じて地域社会・住民に貢献し、地域と共に成長を目指し、地域の活性化に貢献します。

モデル性・波及性

環境省の「平成29年度グリーンボンド発行モデル創出事業」に「北陸地域地方公共団体完全LED化包括事業」を申請し採択されました。この事業スキームを活用して、今後は地方自治体が抱える環境課題及び社会課題をグリーンボンド・ソーシャルボンドを活用し、地域活性化・SDGsに貢献します。

【金沢市体育施設等LED化ESCO事業委託業務 連携体制図】

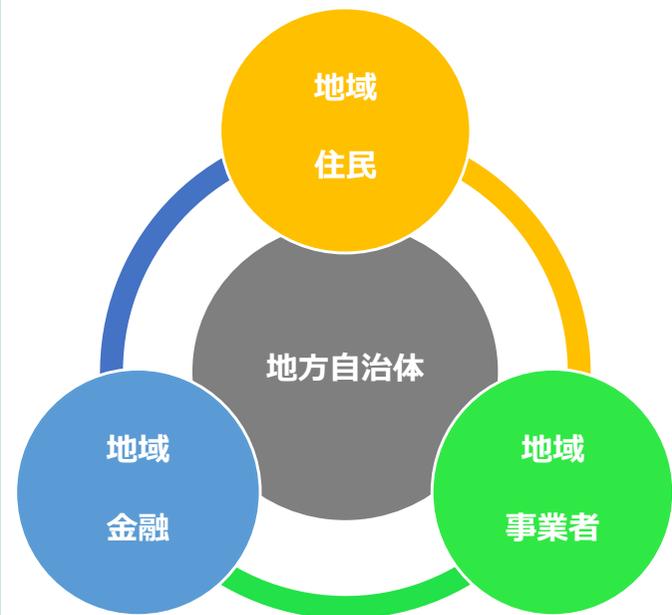


◆2030年ゴールイメージ

地方自治体が抱える様々な社会課題解決に向けた取組を資金 & マネジメントの面から実施します。

グリーンボンドだけでなくソーシャルボンドも活用しながら様々な方向へ事業展開していきます。

地域資源を最大限活用し、地方公共団体ヨシ・地域住民ヨシ・地域事業者ヨシ・地域金融機関ヨシの四方ヨシを目指します。



◆連携先のコメント

北陸グリーンボンド(株)が資金 & マネジメント面からサポートすることにより、地域内の多種多様な専門事業者との連携により大企業に負けない取組が可能となりました。

◆使命 地方創生

私たちは、環境事業を通してSDGs実現を目指し、地域との共存共栄をはかりながら自立運営を目指す地方自治体を支援します。